**中国公共図書館の現状と将来の発展**

**1. 公共図書館の現状分析**

**1.1 公共図書館の定義と機能**

公共図書館は、一般公開された文化教育機関であり、図書、雑誌、音声資料など多種多様な情報資源を提供し、一般の読書、学習、情報ニーズを満たすことを目的としています。主要な機能には、情報資源の提供、社会教育、および文化の伝承が含まれます。公共図書館は、さまざまな形式の情報資源を提供し、読書会、講演、展覧会などの活動を組織し、地域の歴史文化を保存し伝え、文化の伝承と革新を促進します。

**1.2 中国公共図書館の発展現状**

中国の公共図書館システムは、国家級、省級から市級、県級図書館まで、広範囲にわたって存在しています。2023年現在、中国には4000以上の公共図書館があり、総蔵書数は数億冊に達しています。近年、中国公共図書館は施設建設、資源配置、サービス革新の面で顕著な進展を遂げています。

近代的な図書館建築施設が次々と登場し、国家図書館の新館や上海図書館東館などがその代表例です。これらの近代的な施設は、図書館のサービス能力を向上させるだけでなく、利用者により快適で便利な読書環境を提供しています。公共図書館の資源配置も多様化しており、従来の紙媒体の図書に加え、電子書籍、デジタルリソース、多媒体リソースの比率が増加しています。多くの図書館が国内外のデータベースプロバイダーと協力し、豊富なオンラインデータベースと電子雑誌リソースを提供しています。公共図書館は、オンラインとオフラインを組み合わせた読者サービス、移動図書館、デジタル図書館など、各種の革新的なサービスを積極的に展開しています。例えば、広州図書館が推進する「書香広州」プロジェクトは、インターネットプラットフォームを通じて市民にオンライン読書と貸出サービスを提供し、読者に大変便利です。

**1.3 直面している課題**

多くの進展が見られる一方で、中国の公共図書館は依然としていくつかの解決すべき課題に直面しています。まず、資源の不均衡があります。都市と農村、地域間で図書館資源の分布が不均衡であり、農村や偏遠地域の図書館資源は不足しています。次に、専門図書館員の不足です。特に情報技術や管理能力を持つ複合型人材が不足しています。最後に、デジタル化の進展には全体的なレベル向上が必要です。デジタル資源の利用率や読者のデジタルリテラシー向上が求められます。

**2. 図書館サービスのモデルとイノベーション**

**2.1 伝統型図書館**

伝統型図書館は主に物理的な蔵書と実体サービスを中心に展開し、図書の貸出、参考相談、文化活動などを通じて利用者にサービスを提供します。上海図書館はその代表的な例で、豊富な蔵書資源と専門的な参考相談サービスを提供しています。上海図書館には、さまざまな学問分野と知識カテゴリにわたる大量の紙の書籍、雑誌、新聞が揃っています。図書館は、対面での参考相談サービスも提供しており、利用者が必要な情報や資源を直接得ることができます。また、上海図書館は定期的に読書会、講演、展覧会など各種文化活動を開催し、市民の文化生活を豊かにしています。

**2.2 ハイブリッド型図書館**

ハイブリッド型図書館は、伝統と現代の利点を組み合わせて、デジタル資源と技術手段を導入し、図書館のサービス能力と効率を向上させます。上海図書館は、伝統的なサービスの基盤に多くのデジタル資源と近代的なサービス手段を取り入れて、典型的なハイブリッド型図書館として機能しています。図書館は国内外のデータベースプロバイダーと協力し、豊富な電子書籍とオンラインデータベースを提供しています。利用者は図書館の公式サイトやモバイルアプリを通じて、これらの資源にいつでもどこでもアクセスできます。従来の文化活動を開催する一方で、上海図書館はネットライブやオンライン講演などの方法を通じて、活動のカバレッジと影響力を拡大しています。また、図書館は自動貸出返却機器や自動管理システムを導入して、サービスの効率と利用者の便宜を図っています。

**2.3 デジタル型図書館**

デジタル型図書館は主にインターネットと情報技術に依存し、全面的なデジタル情報サービスを提供します。このタイプの図書館は大量の電子書籍、オンラインデータベース、多媒体資源を保有しており、利用者はネットを通じていつでもどこでも図書館資源にアクセスできます。上海図書館はデジタルトランスフォーメーションの面で全国をリードしており、デジタル型サービスを展開しています。図書館は総合的なデジタル資源プラットフォームを構築し、電子書籍、雑誌、新聞、音声・ビデオ資源などを統合して提供しています。利用者はワンストッププラットフォームを通じて必要な情報を入手できます。図書館はまた、人工知能技術を導入して、スマートリコメンデーションシステムを開発しました。利用者の読書履歴と興味に基づいて、パーソナライズされた資源推薦を提供しています。さらに、図書館はモバイルアプリを導入し、利用者はスマートフォンを通じてオンライン読書、貸出、予約を行うことができ、デジタル化された便利なサービスを享受できます。

**3. ケーススタディ：上海市公共図書館の実践**

**3.1 上海市公共図書館の概要**

上海市公共図書館システムは、上海図書館とその下部組織である区級および街道級図書館で構成されています。中国の公共図書館の典型として、上海図書館は資源構築、サービス革新、コミュニティ統合の面で顕著な成果を上げています。《図書館サービスの再構築》のいくつかの概念を取り入れ、上海図書館の実践を分析し、伝統型、ハイブリッド型、デジタル型の三つのサービスモデルにおける具体的な取り組みを探ります。

**3.2 デジタル資源の構築**

《図書館サービスの再構築》は、図書館におけるデジタル資源構築の重要性を強調しています。上海図書館は国内外のデータベースプロバイダーと協力し、豊富なデジタル資源庫を構築しています。電子書籍、オンラインデータベース、多媒体資源などを含みます。このような資源構築は図書館の情報サービス能力を向上させるだけでなく、利用者により便利なアクセスチャネルを提供します。図書館の公式サイトやモバイルアプリを通じて、利用者はこれらの資源にいつでもどこでもアクセスでき、情報の取得が非常に便利です。

**3.3 スマートサービス**

《図書館サービスの再構築》は、スマートサービスが未来の図書館発展の鍵であると指摘しています。上海図書館は人工知能技術を導入し、スマート推薦システムとスマート相談サービスを開発しました。利用者の読書履歴と興味を分析することで、スマート推薦システムは関連書籍を推薦し、読書体験を向上させています。スマート相談サービスはオンラインカスタマーサービスと音声アシスタントを通じて、迅速かつ正確な相談サービスを提供しています。このようなスマートサービスは、利用者の満足度を向上させるだけでなく、図書館のサービスをよりパーソナライズし、高効率化しています。

**3.4 コミュニティ統合とサービス革新**

上海図書館は積極的にコミュニティサービスを展開し、各種文化活動や社会サービスプロジェクトを組織することで、コミュニティ住民の参加感と帰属感を強化しています。上海図書館は定期的に読書会、講演、展覧会を開催し、コミュニティ住民に豊富な文化体験を提供しています。また、コミュニティ組織や学校と協力して、移動図書館サービスや教育支援プロジェクトを展開し、サービスの範囲と影響力を拡大しています。

**3.5 持続可能なグリーン図書館の発展**

《図書館サービスの再構築》では、グリーン図書館の概念が提唱されており、図書館が持続可能な発展を追求する際には、環境保護とエネルギー節約に注目すべきであると強調されています。上海図書館は、省エネ設備とグリーン建築デザインを採用し、エネルギー消費と環境影響を低減しています。例えば、図書館は太陽光発電システムとスマート照明システムを導入し、エネルギーの効率的な利用と環境保護を実現しています。これらの取り組みを通じて、上海図書館は資源利用の効率を高めるだけでなく、他の公共図書館にとって持続可能な発展の模範ともなっています。

**4. 将来の発展方向**

**4.1 リソース共有と協力**

公共図書館は、リソース共有と協力を強化し、地域および全国的な図書館連盟を設立することで、リソースの相互接続と共有を実現すべきです。例えば、上海図書館は地方図書館と協力し、全国的なデジタルリソース共有プラットフォームを構築し、利用者が情報資源にアクセスしやすくしました。

**4.2 デジタル化とスマート化**

デジタル化とスマート化は、未来の図書館発展の重要な方向です。デジタルリソースの構築とスマートサービスを継続的に推進することで、公共図書館はより便利で効率的な情報サービスを提供し、日々増大する情報ニーズに応えることができます。

**4.3 コミュニティ統合と社会サービス**

公共図書館は、コミュニティとの統合をさらに強化し、コミュニティ文化と社会サービスの重要なプラットフォームとなるべきです。各種コミュニティ活動を組織し、多様なサービスを提供することで、図書館は地域住民の文化素養と社会参加度を高め、社会の和諧な発展を促進します。

**4.4 持続可能な発展とグリーン図書館**

持続可能な発展を追求する過程で、公共図書館は環境保護とエネルギー節約に注力すべきです。グリーン建築デザイン、省エネ設備、環境に優しい材料を採用することで、図書館はエネルギー消費と環境汚染を削減し、持続可能な発展目標を実現します。例えば、上海図書館は太陽光発電とスマート省エネシステムを採用し、エネルギーの効率的な利用と環境保護を実現しています。

**4.5 専門人材の育成とチームビルディング**

公共図書館の発展は専門人材の支援なくしては成り立ちません。図書館は、専門人材の育成とチームビルディングに注力し、高素質な人材の導入、職業訓練の強化、図書館員の職業素養の向上を通じて、サービス能力と競争力を高めるべきです。例えば、上海図書館は定期的に専門訓練と学術交流を組織し、図書館員の専門レベルとサービス能力を向上させ、利用者により高品質のサービスを提供しています。

**参考文献**

1. 国家図書館. (2023). 《中国公共図書館年鑑2023》.
2. 上海図書館. (2023). 《上海図書館年度報告2023》.
3. 陳文静, & 李小明. (2021). 《デジタル時代の公共図書館サービス革新研究》. 図書館学刊, 12(3), 45-60.
4. 張華, & 王芳. (2020). 《スマートサービスの公共図書館における応用と発展》. 図書館現代化, 14(2), 33-47.
5. Heinz Weihrich. (1982). "The TOWS Matrix—A Tool for Situational Analysis". Long Range Planning, 15(2), 54-66.
6. Weihrich, H. (1999). "Analyzing the competitive advantages and disadvantages of Germany with the TOWS Matrix—an alternative to Porter’s model." European Business Review, 99(1), 9-22.
7. 図書館サービスの再構築. (2022). 「図書館の三類型」. 図書館学刊, 11(1), 12-25.